

我孫子野鳥を守る会40周年

記念講演会

「アホウドリ 絶滅の危機から回復へ」

— 衛星追跡で判った行動圏 —



【日 時】 平成24年3月18日(日)

13:30~15:00 (受付:13:00~)

【講 師】 尾崎清明氏

(財)山階鳥類研究所副所長・保全研究室室長

【会 場】 手賀沼親水広場 水の館 3F 研修室

【定 員】 先着150名(入場無料)

北半球最大の美しい海鳥、アホウドリ。

かつて、数十万羽がいたと考えられていますが、羽毛採取のため乱獲されたのが原因で一時は絶滅したと見られました。再発見から約60年に及ぶ多くの方々の地道な保護活動により10数羽から2,700羽を越えるまで回復しました。

しかしながら、現在の繁殖地鳥島は噴火のおそれがあり、かつて繁殖していた小笠原諸島の聳島への再導入作戦が始められました。それから4年、その若鳥たちは遥か北方5,000kmのベーリング海、アリューシャン列島周辺の海上から、巣立った故郷聳島へ帰ってきています。今後の聳島での繁殖が大いに期待されます。

その生態とともに、絶滅の危機から復活へ向けてのドラマを、尾崎清明氏が熱く語ります。



講師プロフィール

1951(昭和26)年生れ、滋賀県近江八幡市出身
(財)山階鳥類研究所副所長・保全研究室室長
アホウドリ保全プロジェクトリーダー

研究略歴

日・中トキ保護事業に協力

ヤンバルクイナの発見、標識調査や衛星追跡による渡り研究に従事

東邦大学理学部生物学科卒業 理学博士

主催：我孫子野鳥を守る会

後援：我孫子市教育委員会

問い合わせ：我孫子野鳥を守る会事務局

染谷 Tel 04-7182-3972